

冷たい風が吹く中でも、時折ひざしの暖かさを感じるようになってきました。
子どもたちは元気いっぱい！お散歩に出かけ冬の遊びを楽しんでいるようです。お散歩から帰るとおなかはペコペコ。「今日の給食にかな～？」と興味津々に給食室をのぞきにきてくれます。
食事をより美味しく楽しく、そして安全に食べられる環境作りに努めたいと思います。

食べ物による窒息事故を防ぐ

○食事の際に注意すること

正しい姿勢で座る



食事に集中できるよう、あいさつをしっかりと区切りをつける



食事の際は、水やお茶を飲んで喉を湿らせる



○特に注意すべき食品の特徴

子どもは喉が狭いだけでなく、飲み込んだり、吐き出す力が弱いので、独特の形状や食感の物で喉を詰まらせ窒息を起こすことがあります。



弾力がある



なめらかな物



球状



粘着性が高い



硬い



唾液を吸う



口の中でばらばらになる

○してはいけないこと

事故は、食べ物の形状や食感だけでなく「食べ方」や「行動」が原因となることがあります。

- ・ながら食べをしない
- ・泣いているときに食べない
- ・口に入れたまま話さない
- ・車の中では食べない（揺れや急停車の恐れがある）
- ・子どもだけで食事をさせない（特に兄弟に注意）



ふたりで仲良く…



うどん作りに挑戦しました

白くてつるつるなが一うどん。実はとっても簡単に作ることができます。
うどんって、何から出来るんだろう？と、クイズをしながら作っていくことに。「粉！お水！」と声が上がっていました。さすがです！うどんは、小麦粉、塩、水から出来ています。
さて、材料をボウルでこねます。少し力があるので先生にこねてもらいました。
次はお待ちかね、子どもたちの出番。袋に移して手でこねこね…生地は柔らかい？硬い？不思議な感触でした。生地を床に置いて足でふみふみ。「いち・に・いち・に」とかわいい掛け声。
みんなの頑張りのおかげで、コシの強い生地が出来上がりました。
あとは、麺棒で薄くのばし、包丁で切ると…うどんの完成です！！
「わーい、うどん、うどん！」とみんな大喜びでした。
おやつ時間に、カレーだしをかけていただきました。
「おいしいね」「もっと食べたい」と、たくさん作ったおかわりもあっという間に売り切れました。



楽しそうです♪